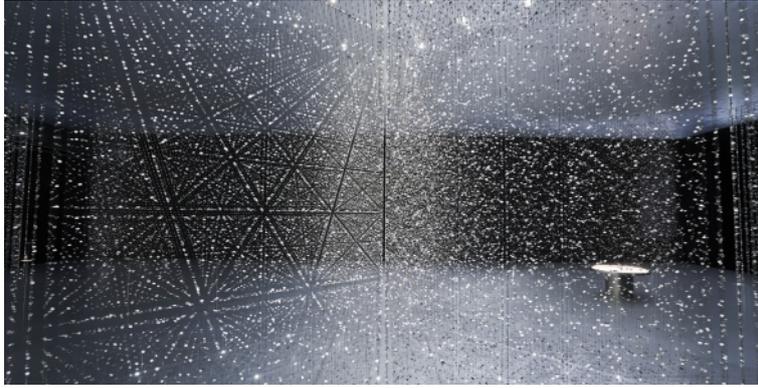


CITIZEN

BETTER STARTS NOW

シチズンがイタリア・ミラノで開催される 世界最大規模のデザインの祭典「ミラノデザインウィーク」に2回目の出展。 「地板」が光り輝く壮大なインスタレーション“time is TIME”を実施。



シチズン時計株式会社(本社:東京都西東京市、代表取締役社長:戸倉敏夫、以下 シチズン)は、4月12日~17日、イタリア・ミラノで開催される、世界最大規模のデザインの祭典であるミラノデザインウィークに出展します。

2014年、ご来場された多くの皆様より高くご評価いただいた“LIGHT is TIME”。そのクリエイティブディレクションを手がけた田根剛氏(DGT.)と、シチズンインハウスのデザインチームは、2013年より「時計」とおして「光」と「時」というテーマに向き合い、シチズンのブランド理念を伝えるインスタレーションの制作に取り組んできました。「時間」という誰にでも共有できる概念をインスタレーションとして表現する両者の挑戦は、今年、“time is TIME”をコンセプトに、「時間」をより深く探求することから始まりました。

時間の本質を探る

現代の人類にとって、決して欠かすことのできない概念である「時」。天体の動きにより生まれる光の移ろいから「時間」が生み出されました。

本展では、DGT.のデザインによる、約12万個もの時計の全ての部品を支える基板装置である「地板」が光り輝く壮大な空間の中、宇宙、地球、生物、人類、人生、社会と「時間」がどうつながっているのかをあらゆる角度から探求し、機械式、電子式のムーブメントによって様々な動きを見せる「時」を展示します。

シチズンは、1918年の創業より約100年もの間、時代の最新の技術とともに新しい可能性を探求し続け、デザインの力によって今までにない選択肢を生み出してきました。「新しい技術にはじまりを与える」シチズンのデザインを象徴する18個の代表的な腕時計も展示します。

“time is TIME”は、シチズンが考える「時」「時間」を体感できる空間です。

シチズンのコア・テクノロジー、光発電「エコ・ドライブ」

シチズンは今年、光だけで動き続ける世界初のアナログ式発電時計を発売して40年を迎えます。

「光」を電気エネルギーに換え、時計を動かす光発電「エコ・ドライブ」※は、「光」と「時」を象徴するシチズンのコア・テクノロジーであり、「エコ・ドライブ」製品の開発を通し、未来に向け挑戦を続けるシチズンの魅力を、この機会に多くの方々に感じて頂くことを期待しています。

※ エコ・ドライブ:定期的な電池交換が不要の光発電時計で、シチズンの機能ブランドです。時計で初めて「エコマーク商品」に認定されました。

展示概要

■CITIZEN MILAN DESIGN WEEK 2016

■テーマ: time is TIME

■日時: 一般公開 2016年4月12日(火)~17日(日) 10:00~21:00

※4月17日(日)は18:00 終了

Press Preview 4月11日(月)15:00~20:00

Opening Party 4月11日(月)18:00~20:00

■会場: Superstudio Più " Art Point "

(スーパースタジオ・ピュー内 アートポイント)

所在地: Via tortona 27, 20144 Milano

(イタリア ミラノ市内トルトーナ地区)

■会場スペース: 824 m²(35 x 24.7 m)

■主催: シチズン時計 株式会社

■クリエイティブディレクション: シチズン時計 株式会社 デザイン部×田根 剛(DGT.)

■インスタレーションデザイン: DGT.(DORELL.GHOTMEH.TANE / ARCHITECTS)

■テクニカルディレクション: 遠藤 豊(LUFTZUG)

■作曲、サウンドアート: evala

■サウンドエンジニアリング: WHITELIGHT

■スペシャルサイト: <http://www.citizenwatch-global.com/g/event2016/milan/index.html>

シチズンデザインとは

シチズンのデザインは約100年の間、時代とともに進化してきました。

私たちは、それぞれの時代の最新の技術とともに腕時計の新しい可能性を探求し続け、デザインの力によっていままでにない選択肢を生み出してきました。技術に美を重ね合わせた時はじめて、「機械」に命が宿ります。

「新しい技術にはじまりを与える」、それがシチズンデザインです。

シチズン時計とは

シチズン時計は、部品から完成時計まで自社一貫製造するマニファクチュールであり、世界100ヶ国以上でビジネスを展開しています。1918年の創業以来、「Better Starts Now」「どんな時であろうと『今』をスタートだと考えて行動する限り、私たちは絶えず何かをより良くしていけるのだ」という信念のもと、世界に先駆けて開発した光発電技術「エコ・ドライブ」や最先端の衛星電波時計など、常に時計の可能性を考え、開発を重ねてきました。2016年に光発電開発から40年を迎えたシチズン時計は、これからも時計の未来を切りひらいていきます。



ミラノデザインウィークとは

毎年4月にイタリア・ミラノで開かれる世界最大級の国際家具見本市、正式名称「Salone Internazionale del Mobile di Milano」と同時期に、ミラノ市内各所で開催される展示やイベント、通称「Fuori Salone」(フォーリ サローネ)を合わせた総称です。

今回、弊社は「Fuori Salone」のひとつとして出展します。

インスタレーションコンセプト

“time is TIME”

時間をより深く探求したいと思いました。

なぜ時間は“いま”という一瞬があるのに、時間は絶対に“止まって”くれないのか。ひとや物は“古く”なっていくのに、なぜ時間だけいつも“新しく”なっていくのだろうか。

時間は常に動き“変わる”。変わることだけが永遠に変わらない。必ず訪れ、そして去って行く。それが時間です。

『time is TIME』は時間実験の空間です。約12万個の「地板」を用いたインスタレーションは、会場内の中央にある二つの空間（SPACE A / SPACE B）で全く異なる体験が起こります。

時間だけが絶対に変わらず、その他すべてが相対的な存在であることを体感してもらえるインスタレーションとなります。

21世紀になり15年が経ちました。グローバルな時代、世界でおこるさまざま出来事は必ず我々の生活に影響を及ぼす時代です。スマートな社会が加速していくなか、再び“時間”の尊厳を問うことが次の時代を切り拓く可能性を秘めていると思っています。“いま”という時間は地球には平等に“同時”に繋がっている。

『time is TIME』は21世紀への“時間”から考える挑戦なのです。

田根 剛(DGT.)

空間構成

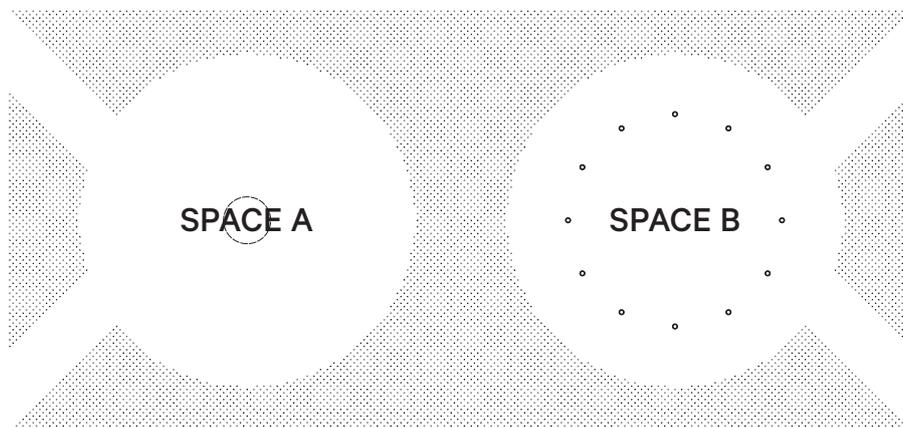
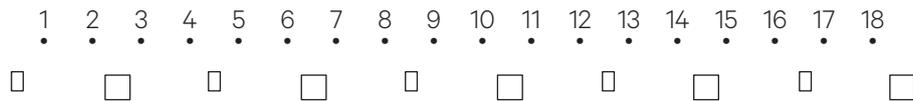
約12万個もの時計のすべての部品を支える基盤装置「地板」が約850㎡の空間を埋め尽くし、光り輝く壮大な空間を創り出します。

"time is TIME" は、時間の世界により深く踏み込んだ「いま」と「未来」を伝える展示です。

"time" = 瞬間、はじまり、偶然、いま

"TIME" = 時代、永遠、必然、未来

WATCHES



SPACE A

organic, random, continuous, analogue,
coincident, micro, now

60個の機械式ムーブメントにより絶え間なく動き続ける
”時間の流れ”を表現。

SPACE B

systematic, geometry, discrete, digital,
calculated, macro, future

電子ムーブメントにより一秒の間に存在する
“さまざまな時”を表現。

WATCHES

常に時代の最先端技術や価値観によって新しい時計づくりをしてきたシチズンの代表的な18個の時計を紹介いたします。

また、今年のバーゼルワールドで発表された新製品も展示いたします。

18個の展示時計一覧

1. 電子時計



年代	1966
モデル名	X8

2. 超高精度時計



年代	1976
モデル名	Crystron MEGA

3. 光発電時計



年代	1976
モデル名	Crystron Solar Cell

4. デジタル・アナログ複合表示時計



年代	1978
モデル名	DIGI-ANA

5. AM・FMラジオ受信時計



年代	1984
モデル名	SOUNDWICH

6. 水深計付き時計



年代	1985
モデル名	PROMASTER AQUALAND

7. チタニウム外装時計



年代	1987
モデル名	ATTESA

8. 精密星座盤時計



年代	1987
モデル名	Cosmosign

9. 温度差発電時計



年代	1999
モデル名	Eco-Drive Thermo

10. 透明ソーラーセル時計



年代	2001
モデル名	Eco-Drive Vitro

11. 極小ムーブメント搭載時計



年代	2002
モデル名	mim of CITIZEN

12. Bluetooth搭載時計



年代	2006
モデル名	i:VIRT

13. リングソーラーセル時計



年代	2010
モデル名	Eco-Drive Loop

14. LEDディスプレイ時計



年代	2012
モデル名	Eco-Drive Nova

15. 高度計付き時計



年代	2014
モデル名	PROMASTER ALTICHRON CIRRUS

16. 衛星電波時計



年代	2015
モデル名	Eco-Drive Satellite Wave F900

17. エコロジカル プロセス時計



年代	2016
モデル名	CITIZEN L Ambiluna

18. 極薄時計



年代	2016
モデル名	Eco-Drive One

クリエイタープロフィール

Installation Design

DGT.(DORELL.GHOTMEH.TANE / ARCHITECTS)

DGT. はパリを拠点に2006年より設立されたダン・ドレル、リナ・ゴットメ、田根剛の共同主宰による都市・建築・空間デザインの設計事務所である。2006年『エストニア国立博物館』の国際設計競技にて最優秀賞(2016年10月オープン予定)、また新国立競技場基本構想国際デザイン競技の『古墳スタジアム』がファイナリストに選ばれ国際的な注目を集める。代表作に『A House for OISO』『LIGHT is TIME - CITIZEN』『Re-Alimenter Massena』など。現在、フランス・スイス・レバノン・日本でプロジェクトが進行中。フランス文化庁新進建築家賞、ミラノ建築家協会賞受賞、ミラノ・デザイン・アワード2部門受賞(2014)、欧州建築家“Visionary Architects for a new decade” に選出されるなど多数受賞。

www.dgtarchitects.com



Technical Design

LUFTZUG

遠藤 豊 Yutaka ENDO

1977年新潟生まれ。アートディレクター/ プロデューサー/ テクニカルディレクター。舞台芸術を中心に、音楽、映像、デザイン、コンピューターテクノロジーとの関わりを独自に作り出す。02年以降はアートディレクター、プロデューサー、テクニカルコーディネーターとして様々な分野の企画に携わる。05年トランスボーダーな表現と創造的なディレクションを行うための意思として有限会社ルフトツークを設立。曖昧なメディアの媒介としての役割を確立しようと活動を広める。プロデュースやテクニカルスタッフとアーティストの、また技術とアイデアの架け橋として、社会的役割を果たすためのプロダクションを成立させることにつとめる。近年は国内外で積極的に活動を行う。2012年ルフトツーク・ヨーロッパをアムステルダムに設立。積極的な人と間隔の交流を目指し、拠点の境目をなくし、感覚の遍在化を目指す。テクニカルディレクターとして、ミラノサローネ、Baselworld、デザインあ展「モノ・オトと映像の部屋」(2013 東京)、「北斎」展(2014 パリ)、建築家 フランク・ゲーリー展 “I Have an Idea” (2015 東京)他、映像、音響、照明演出などに携わる。

<http://www.luftzug.net/>



Composition, Sound Art

evala

音楽家、サウンドアーティスト。先鋭的な電子音楽作品を発表し、国内外の音楽祭や美術展にてインスタレーションやコンサートの上演、また公共空間、舞台、映画、広告メディアにおいて立体音響システムや先端テクノロジーを用いた多彩なサウンドデザインと楽曲制作を行う。その作品はカンヌ国際広告祭や文化庁メディア芸術祭にて受賞多数。2006年デビュー。主な近作に、CD『acoustic bend』、インスタレーション『大きな耳をもったキツネ』(NTTインターコミュニケーション・センター-[ICC])、『void inflection』(山口情報芸術センター-[YCAM])。『Hermès - Leather Forever』、『LOUIS VUITTON - Timeless Muse』、『東京モーターショー Mobilityscape Tokyo』、『TOYOTA New Global Architecture』での音楽とサウンドプロデュース。『蜷川実花: Self-imag展』、『杉本博司: Lost Human Genetic Archive展』、ボカロイド・オペラ『THE END』でのサラウンド音響プログラムなどがある。

<http://evala.jp/>



Special Performance

会期前日の4月11日に開催するオープニングパーティーでは、世界的に活躍するピアニスト向井山朋子氏と、本展のサウンドアートを担当した気鋭のサウンドデザイナーevala氏による、ライブセッションを行います。グランドピアノと最先鋭のエレクトロニカ(電子音楽)、相反する2つの音源と光が、インスタレーション空間の中で共鳴し合う。

「時」「時代」「光」— CITIZENのフィロソフィーを体現するパフォーマンスです。

出演：向井山 朋子 (ピアニスト / アーティスト)

evala (音楽家 / サウンドアーティスト)

プロフィール

向井山朋子

オランダ・アムステルダム在住のピアニスト、美術家。1991年国際ガウデアムス演奏家コンクールに日本人として初めて優勝、村松賞受賞。アンサンブル・モデルン、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、ロンドンシンフォニッタ、ロイヤル・コンサートヘボウなどに毎年ソリストとして招聘され、新曲の初演に携わる。また、近年は従来の形式にとらわれない舞台芸術やインスタレーション作品を発表。向井山の関心は一貫して、音楽が演奏される空間とそれに関わる人間(演奏者、観客)が音楽をどのように受け止め、またその空間を知覚するかにある。日本とオランダ、自身のあるいは他者の身体性、セクシャリティ、演奏と記憶、などをテーマに異なるテーマを横断し侵犯しながら共存をめざす作品の演奏・制作を続けている。2007年、向井山朋子ファンデーションをオランダに、2015年には日本で一般社団法人O+(マルタス)を設立し、プロデュースの分野でも活躍。音楽のみならず美術、建築、ファッション、ダンス、写真など幅広い分野とのコラボレーションで独創性を発揮している。今年も建築家の伊東豊雄氏らと共にファッションと境界線をテーマにした舞台『La Mode(ラ・モード)』を制作、台中オペラハウスのこけら落としのあと、東京、オランダでツアー。またさいたまトリエンナーレで新作『HOME』を発表する。

www.multus.jp

evala

※クリエイタープロフィール欄をご参照ください。

ピアノ提供協力

FAZIOLI

ファツィオリ(伊: Fazioli)は、1981年に創業したイタリアのピアノメーカーで、イタリアの職人が手造り少量最高級を目指し製造されたピアノ。世界で最も高額なピアノとして知られており、チャイコフスキー国際コンクールの公式ピアノとして採用されている。

<http://www.fazioli.co.jp/>

New Product 1

シチズンの光発電時計開発40周年を記念したフラッグシップモデル
薄さ1.00mmのムーブメントを内包した世界最薄のエコ・ドライブウォッチ

Eco-Drive One (エコ・ドライブワン)

2016年秋 発売予定

シチズン時計株式会社(本社:東京都西東京市、代表取締役社長:戸倉 敏夫)は、当社の光発電時計開発40周年を記念したフラッグシップモデルとして、世界最薄^{※1}の光発電エコ・ドライブウォッチ^{※2}「Eco-Drive One(エコ・ドライブワン)」を今秋、発売します。

搭載する新開発のムーブメントは、薄さわずか1.00mm、ケース厚は2.98mmと、どちらもアナログ式光発電時計としては世界最薄を実現しました。さらにフラッグシップモデルにふさわしい高い完成度を目指し、外装に堅牢な新素材を採用。「薄さ」とともに「強さ」「美しさの持続」という特長も兼ね備えました。



Eco-Drive One(限定モデル)
AR5014-04E
700,000円+税
2016年秋発売予定

シチズンの基幹技術である光発電エコ・ドライブは定期的な電池交換不要のシチズン独自の光発電技術であり、「市民に愛され親しまれるものづくり」を通じて、世界の人々の暮らしに貢献するという企業理念を体現しています。世界初のアナログ式光発電時計を開発してから40年という節目を迎えた今年、私たちは「時計の本質は何か」ということに改めて向き合いました。

それは「正しい時間を刻み続ける精度、永続的な駆動、そして腕に纏ったときの美しさ。」その本質的な価値を表現するため、今回私たちは、美しく研ぎ澄まされた薄さを実現しました。1.00mmのムーブメントを内包した世界最薄のエコ・ドライブウォッチ「Eco-Drive One(エコ・ドライブワン)」。

驚きと身に着ける楽しさを提案する時計です。

※1 世界最薄:アナログ式光発電腕時計として。2016年3月当社調べ

※2 エコ・ドライブ:定期的な電池交換が不要の光発電時計で、シチズンの機能ブランドです。時計で初めて「エコマーク商品」に認定されました。

【製品特長】

世界最薄1.00mmのムーブメントを実現



開発目標は従来比半分の薄さ1.00mmのムーブメント。世界最薄を実現する為に、構成する、ほぼ全てのパーツを新規に開発。限られたスペースに必要な部品を収めるため、部品の構造や加工そのものを根本から見直すとともに、様々なシミュレーションを繰り返し、薄型化に向けての新たな工夫を凝らしました。その研ぎ澄まされた薄さによって、腕に纏ったときの美しさと心地よさを実感できます。



薄さわずか1.00mmのムーブメント。「Eco-Drive One」という名前には、その1.00mmに込められた思いが息づいています。

「薄さ」と「強さ」を両立する、新素材の採用

外装には、薄い構造でも堅牢な2つの新しい素材「バインダレス超硬合金」「サーメット」を採用しました。キズや衝撃から時計を守ると同時に、時計の持つ美しさをより長く持続させます。

バインダレス超硬合金※3

優れた硬さ、耐食性、耐酸化性を有した素材で、限定モデルのベゼルと裏ふたに採用。金型などに使用されることの多いバインダレス超硬合金ですが、鏡面精度が高いという特性を活かし、今回初めて時計に採用しました。素材硬度は、ステンレスの10倍以上となるピッカース硬度※4 2,100以上です。

サーメット※5

「薄さ」と「強度」の相反する要素を満たす素材で、限定モデルのケースと、メタルバンドモデルのベゼルに採用。チタンベースの硬い粒子で構成され、素材硬度がピッカース硬度1,500を有する超硬合金で、金属の光沢が美しい仕上がりを実現しています。

シチズンは、光発電時計のパイオニアとして、これからも基幹技術であるエコ・ドライブに新たな価値を加え、時計の未来を切りひらいていきます。



シチズンの薄型化開発について

シチズンの薄さへの挑戦は、1950年代から始まり、1978年に、アナログクォーツ時計（電池式）として当時世界最薄のムーブメント厚0.98 mmを搭載した「エクシード ゴールド」を発売。2002年にはケース厚4.25 mm、ムーブメント厚1.91mmを光発電エコ・ドライブで実現した「STILETTO(スティレット)」を発売。このモデルは、今日までアナログ式光発電時計として世界最薄を誇ってきました。そして2016年、更なる改善を進め、ケースのみならずムーブメントも世界最薄を実現した「Eco-Drive One(エコ・ドライブ ワン)」が登場します。

シチズンの光発電開発について

シチズンは1976年に世界で初めてアナログ式光発電時計を発売し、今年で40年を迎えます。太陽光だけでなく部屋のわずかな光でもエネルギーに変え、時計を動かし続けるシチズンの光発電時計「エコ・ドライブ」は、より多機能に、より小さく、より薄く、より美しく、さまざまな時計に進化し続けています。本フラッグシップモデル「Eco-Drive One」はシチズンのもつ最先端の光発電技術を体現したモデルです。



1976

【商品仕様】



商品名	Eco-Drive One (エコ・ドライブ ワン) 限定モデル	Eco-Drive One (エコ・ドライブ ワン)		
商品番号 (左より)	AR5014-04E	AR5000-50E	AR5000-68A	AR5004-59H
発売月	2016年 今秋予定			
希望小売価格	700,000円+税	300,000円+税		
限定数	世界限定 800本	—		
ベゼル	バインダレス超硬合金	サーメット		
ケース	サーメット	ステンレス (デュラテクト※5a)		
裏蓋	バインダレス超硬合金	サーメット		
バンド	ワニ革	ステンレス (デュラテクトa)		
ケース径/厚み (設計値)	ケース径 38.25mm/ 厚み 2.98mm	ケース径 39.8mm/ 厚み 2.98mm		
ガラス	サファイアガラス (99%クラリティ・コーティング※6)			
防水	日常生活用防水			
文字板カラー	ブラック	ブラック	シルバー	チャコールグレー
主な機能	Cal.8826 / 月差 ±15秒 / 光発電エコ・ドライブ / フル充電時 10ヶ月可動			

※3 バインダレス超硬合金: 主成分に「炭化タングステン」を用いて、結合剤にコバルトやニッケルを含まず、従来の超硬に対し硬度、耐食性、耐酸化性に優れた超硬合金です。結合剤(バインダー)がない硬質相のみで形成されるためバインダレスと呼ばれます。

※4 ピッカース硬度(Hv): 素材にダイヤモンド製の圧子を押し込むことで測定される、硬さを表す尺度の一つ。この試験方法は、極めて硬い材料も測定でき、また試験用途も大変広く、他の硬さ試験の基準にも利用されています。

※5 サーメット: Ceramics(セラミックス)とMetal(金属)からの造語です。金属の炭化物や窒化物など硬質化合物の粉末を金属の結合剤と混合させて焼結した複合材料の呼称です。セラミックスの特性である耐熱性や耐摩耗性、金属の特性である靱性を兼ね備えています。一般的なセラミックスよりも金属光沢を持った色調表現が可能です。

※6 デュラテクト: シチズン独自の硬化技術。ステンレスやチタニウムの金属表面硬度を高め、優れた耐摩耗性により、すりキズや小キズから時計本体を守り、素材の輝きを長期間保つ技術の総称です。

デュラテクトa: デュラテクトの最高峰。表面硬度においてはステンレスの10倍以上で、ピッカース硬度は2,000以上となります。貴金属を含まないので肌に優しいのも特徴です。

※7 99% クラリティ・コーティング: サファイアガラスの表裏両面にシリコン加工物を多層構造コーティングすることにより光の反射を抑え、(透過率99%)高い視認性を確保し時計の文字板を見やすくしました。またキズがつきにくく、表面には汚れを防ぐ撥水膜を施し、耐久性と防汚性を向上させています。

New Product 2

21世紀を美しくパワフルに生きる女性のための " 新感覚ラグジュアリーウォッチ "

シチズン エル アンビリユナ
CITIZEN L Ambiluna 誕生



自然環境や人々を思いやる**エシカル**なスピリット

人々に新しいビジョンをもたらす**建築**の造形

手や自然のぬくもりから芸術を生み出す**クラフトマンシップ**

すべてが調和するとき、21世紀の " 新感覚ラグジュアリーウォッチ " が生まれます。

"Beauty is Beauty." 「美しいものは美しいマインドから生まれる、内側の美が外側を輝かせる。」というコンセプトで2012年からシチズンのレディスウォッチブランドとしてグローバルに展開しているCITIZEN L。全ての製品に地球上どこでも光さえあれば動き続ける、光発電エコドライブ※1を搭載しています。

時計ブランドとして、また、マニュファクチャールとして、時代を超える普遍的に美しいデザインをシチズンが捉えるエシカルなモノづくりで表現しました。

そして2016年、CITIZEN Lに新たなコレクション「CITIZEN L Ambiluna」が誕生します。数々の世界的なプロジェクトを手掛け、建築の新しい切り口を提起し続ける建築家 藤本壮介氏とファッションジャーナリスト 生駒芳子氏をアドバイザーに迎え、「新感覚ラグジュアリーウォッチ」を提案します。シチズンが考える新しい「ラグジュアリー」、それは表面を贅沢にかざるのではなく、製品が生まれる背景に豊かなストーリーや思いやりがあることです。「CITIZEN L Ambiluna」は、人や社会、自然環境に配慮したサステイナブルな生産背景を持ち、伝統的な技術を未来へつなぐクラフトマンシップを踏襲したコレクション。

未来をよりよいものにしようという意志を持ち、世界のチェンジメーカーとなる女性たちに向けた、CITIZEN Lの最新コレクションです。

※1 エコドライブ：定期的な電池交換不要の光発電時計で、シチズンの機能ブランドです。時計で初めて「エコマーク商品」に認定されました。

デザインアドバイザーに建築家 藤本壮介氏が就任 新コレクション「Ambiluna」^{アンビリユナ}とは

CITIZEN Lのブランドアイコンとなる新コレクション「Ambiluna(アンビリユナ)」。ambi- は、光や風が溢れる環境を指す「ambient」や、曖昧さをイメージした「ambiguity」などの接頭語であり、そこに自然の移ろいやかすかな存在の豊かさを示唆する神秘的なパワーを持つ「luna= 月」を組み合わせた造語です。藤本壮介氏が提案するデザインテーマは「光そのもの」です。生命の源になる「光」と、本来かたがたない「時」。その二つを結びつけ、光のうつろいで「時」を感じさせる新しいデザインアプローチとなる時計です。デザインの根幹となるのは、薄霧に包まれてやわらかく光る朧月をイメージした“月明かり”サファイアガラス。高透明度のサファイアガラスをあえて曇らせることで、光のうつろいを表情豊かに感じさせます。単に「時間を見る」ための道具ではない、光そのものを身にまとっているような新しい時計の概念を提案します。

限定モデル:「光そのもの」を表現した時計

“月明かり”サファイアガラスは、その表面に現れる光のニュアンスによって、豊かな表情を作り出します。「光そのもの」を表現する時計のバンドには、日本のクラフトマンシップをもつ京都の西陣織老舗「細尾」が光の揺らぎをイメージして織り上げたオリジナルの西陣テキスタイルを使用。優しい光に溶け込むような豊かな輝きを放ち、ミニマルな美しさの中にエレガンスを感じさせるデザインに仕上げました。ケースには純チタニウムにシチズン独自の表面硬化技術を施したスーパーチタニウムTM※2を採用し、ステンレスの5倍以上の硬さを実現しています。軽く、使い心地よく、デリケートな肌にも安心して着用できる素材を採用しました。また今回の限定モデルはバンドと同じ西陣テキスタイルで仕上げたクラッチバックとバングルを桐箱に納めたセットでの販売。時を知るためだけではない、時計の楽しみ方を提案します。



オリジナル西陣テキスタイルバングル
クラッチバック付き



シリーズ名	CITIZEN L Ambiluna (シチズン エル アンビリユナ) 限定モデル
商品番号	EG7000-01A
発売月	2016年 今秋発売予定
希望小売価格(予定)	180,000円
限定数量	世界限定1,000個
ケース / バンド	スーパーチタニウム / 西陣テキスタイル
ケース径 / 厚み	37.8mm/9.49mm
ガラス	サファイアガラス
主な仕様	Cal:G620 / エコ・ドライブ / フル充電時約8ヶ月可動 / 月差±15秒

※2 スーパーチタニウムTM:シチズン独自の技術により、純チタニウムに表面硬化技術デュラテクトを施しステンレスの5倍以上の硬さを実現。キズに強く、軽く、肌にも優しいので、快適な着け心地で使用できます。

「光と時を結びつけた」時計

針の見やすさにも配慮したグラデーションの“月明かり” サファイアガラスは、やわらかな透明感と、ゆったりと流れゆく静かな時を感じさせます。11時位置にあるオーナメントには、「漆塗り・蒔絵」という日本の伝統の技を現代的にアレンジした漆の老舗「坂本乙造商店」の「漆玉」を使用。一つひとつ丁寧に作られている漆玉は、その色、塗りの重ね方によって様々な光の輝きを作り出します。“月明かり” サファイアガラスと漆玉。それぞれが放つ異なる輝きが、シンプルなハングルの上でバランスをとっています。ケースと漆玉の間には一粒のダイヤモンドをセット。デザインに美しい緊張感を与え、また12時位置を示すインデックスの役割を持っています。エレガンスとピュアな生命力を感じさせるデザインです。



シリーズ名	CITIZEN L Ambiluna (シチズン エル アンビリユナ)		
商品番号(上から)	EW5496-52W	EW5491-56A	EW5495-55P
発売月 / 希望小売価格	2016年 今秋発売予定 / 67,000円 未定		
ケース / バンド	ステンレス(漆玉・ダイヤモンド一石入り) / ステンレス ※漆玉部分はモデルにより、一部銀箔・金銀色粉を使用。		
ケース径 / 厚み	24.6mm/9.05mm		
主な仕様	Cal: B035 / エコ・ドライブ / フル充電時約7ヶ月可動 / 5気圧防水 / 月差±15秒		

《参考資料》



Design Adviser

建築家

藤本壮介

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2015年パリ・サクレ・エコール・ポリテクニク学校施設国際設計競技一等受賞、2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞受賞。



Brand Adviser

ファッションジャーナリスト

生駒芳子

VOGUE, ELLEの副編集長、マリ・クレール日本版・編集長に就任。2008年独立後、ファッション、ライフスタイルを核として、社会貢献、エコロジー、クール・ジャパンまで、プロジェクト立ち上げ、雑誌や新聞への執筆に関わる。伝統工芸開発プロジェクトWAOをプロデュース。

Product Concept

Design Adviser 藤本壮介

「時を感じる時計～A watch with an emotion of time～」

時間とは本来目に見えないものです。

目に見えないゆえの豊かさがそこにはあります。

光もまた、形を持たないものです。

しかし私たちは、光の揺らぎに時を感じます。

時間を機械化し可視化する時計という存在において、

ふたたび、

目に見えない時間を感じることはできないでしょうか。

光そのものが形を持ち、光の揺らぎのように時を感じられる時計を作ることはできないでしょうか。見えることと見えないことの間、新しい時間

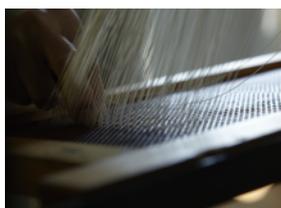
の感覚を生み出したい。

半透明の光のなかでかすかな予感のように針が動く時と光の本質を捉え直すことから、この時計は生まれました。



西陣織:株式会社 細尾

1688年(元禄年間)、京都西陣において大寺院御用達の織屋として創業。西陣織とは1200年前より貴族、武士階級、さらには裕福な町人達の圧倒的な支持を受けて育まれた京都の先染め織物。現在は、日本が誇る「帯」や「きもの」をはじめ、世界のラグジュアリーマーケットに向けた、西陣織による革新的なファブリックの開発に積極的に取り組む。



漆:株式会社 坂本乙造商店

(URUSHI SAKAMOTO CO.,LTD.)

1900年創業。創業から115年間、「伝統を現代に活かす」をテーマに、漆の装身具から工業製品まで幅広く取り組む漆の老舗メーカー。現在は、様々な業種ともコラボレーションし、ニューヨーク近代美術館パーマナントコレクションに選定されるなど、漆の価値を国内外へ発信している。

